

# 令和2年度 学校法人アルウィン学園 事業報告

ひとりひとりを大切にしたい そしてその育ちを支えたい その思いがアルウィン学園の教育の原点です

## 1. 学園概要

設立 大正5年(1916)2月

設置する部門 (2部門)

育成部門	玉成保育専門学校	校長	高橋かずみ
保育部門	こどもの木かけ	所長	神蔵 幸子
	玉成幼稚園	園長	田口 裕子
	野のはな空のとり保育園	園長	佐久本宏美

## 学生定員及び在籍生徒・園児数

	学則定員	在籍数 (R2,5/1)	在籍数 (R3,3月末)
玉成保育専門学校 保育専門課程 保育学科	100名	97名 (1年54 2年43)	93名 (1年54 2年39)
玉成幼稚園	270名	219名 (少72中73長74)	209名 (少70中67長72)
野のはな空のとり 保育園	30名	35名 (9, 12, 14)	35名 (9, 12, 14)

## 教職員数

括弧内は令和1年度

	専任教員	専任職員	非常勤	パート	派遣職員
法人		4名(4)			
こどもの木かけ	1名(1)				
玉成保育専門学校	5名(4)	2名(1)	1名(1)	0名(0)	0名(0)
玉成幼稚園	17名(19)		0名(0)	18名(18)	0名(0)
野のはな空のとり保育園	15名(14)		1名(2)	20名(17)	2名(2)

## 法人役員・評議員 (R3, 3月末)

	定員	実人員
理事	8名	8名
監事	2名	2名
評議員	17名	17名

理事長 高橋かずみ

理事 国分紀之、今関公雄、小倉 昇

高橋かずみ、神蔵幸子、田口裕子、佐久本宏美、安田淳一

監事 阿部豊太郎、勝間田清一

評議員 国分紀之、今関公雄、小倉 昇

加藤正克、茂井万里絵、関本泰子、西川 涼、花井 香

高橋かずみ、神蔵幸子、田口裕子、佐久本宏美、藤岡郁子、安田淳一

原田麻衣子、山本直子、黒田康子

委嘱医師 森谷泰和（玉成保育専門学校、玉成幼稚園・野のはな空のとり保育園）

薬剤師 三澤全美

\*学校法人の経営に伴って発生する賠償責任に対応するため、役員個人に関する補償及び法人に対する補償を内容とした全日本私立幼稚園連合会が取りまとめる役員賠償責任保険（総支払限度額1億円）に加入。

## 2. 事業の概要

令和2年度運営計画における①基本方針、②運営方針、③教育方針に基づき、以下のとおり、（1）教育内容の充実 （2）施設・設備等教育環境の充実 に努めた。

### （1）教育内容の充実

計画当初の教育方針に従い、各部門ともに本学園の特色を生かした創立者アルウィン先生の建学の精神に沿い、キリスト教精神に基づいた教育に努めた。

## 【育成部門】

### 《玉成保育専門学校》

#### ① 玉成保育専門学校の方針の明文化

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）、ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）の3つのポリシーを明確化し、明文化することができなかった。

2021年度は、教員養成課程の申請もあるため、併せて明確化・明文化し、学生募集にも繋げたい。

#### ② 「玉成保育専門学校運営委員会」の継続的な開催と「学校評価」の実施

3年前に立ち上げた「玉成保育専門学校運営委員会」、「自己評価（学校評価）委員会」であるが、昨年度は、教職員が授業の回数の確保と資格の申請等の業務に追われ、開催することができなかった。またオンライン授業のため、「教員評価」も実施されず、教員や学生へのフィードバックもできずじまいであった。今年度は、書面やリモートでの実施も視野に入れて考えていく。

#### ③ 「カリキュラム検討委員会」の立ち上げと新しいカリキュラムの検討

上記②と同様、カリキュラムについて検討すらできず、1年間の授業をオンラインと対面を組み合わせ、工夫しつつ行うことで精いっぱいであった。ただし、2021年度内に新しいカリキュラムを作成し、申請することが必要である。コロナ後の生活も踏まえ、本校の特色を十分に活かしつつ、教員養成のカリキュラムを作成したい。

#### ④ 学校事務分掌、教務分掌の実施

上記②、③と同様、専任教員、教務事務職員が、日々多忙を極めている実態を解消するどころか、感染症対策のため、使用した教室等の消毒や学生の見守り等の作業も新たに加わり、多忙な一年であった。今年こそ学生たちの豊かな学校生活を保障するためにも、学校事務分掌、教務分掌を整理し、確実に実施したい。また教職員個々のワークラ

イフバランスも豊かなものとしていけるようにする。

⑤ 専任教員の専門分野の研究活動を深める

コロナ禍ではあったが、それぞれの専門に応じて学会で発表できるようエントリーをしていたが、「保育学会」は中止となり、エントリーのみで発表とみなされて業績を積むことができた。

研究会等も出席することができなかったが、今後も可能な形で研究活動の成果を論文にまとめ、保育学会、保育士養成協議会等、関係学会での発表を行っていきたい。

【保育部門】

《 野のはな空のとり保育園 》

① 保育の「可視化」を前進させることから、保育の質向上につなげる。

全体会議などで保育の可視化の学びを続けて行い、ドキュメンテーションの作成、保育場面の動画の公開、園だよりの保護者投稿欄を設けることを行ってきた。喜びの感想を寄せて下さることが多く、職員にとって、より一層の励みにもなった。

② 保育実践の記述を根本的に学びなおし、保育の質向上につなげる。

保育日誌、おたより帳、園だよりやドキュメンテーションを、「二人称記述」、「エピソード記述」で記録できるようになるための学びを続けて行った。これは、記録の技術だけでなく、子ども理解の向上に繋がることであり、あそびや育ちの姿を捉える力がついたことに対する手ごたえが感じられた。

③ こどもの木かげの基本理念・保育方針に基づく保育を実践する

環境を大切にす理念のもと、開設以来毎年続けている環境プロジェクトで、子どもが自発的に遊びださずにはいられない、そのあそびが豊かに広がっていくような保育室の環境について学びを深めた。

④ PDCA サイクルを実践する

日々の振り返りを大切に、「今の子どもの姿」を確実にとらえること、その次に繋げていきたいことを具体的にすることを目指してきた。そのためには、発達の理解が欠かせないので、その学びも必要だと感じた。

⑤ 子育て支援をとおしてアルウィン学園の存在価値を高めるような地域支援に取り組む

コロナのため、地域の親子と園児との交流の機会は持てなかったが、ホームページや園だより、また地域支援利用者向けのドキュメンテーション作成を通して発信を続けた。

保育園児のあそびの姿を知り、年齢・月齢の発達段階に応じてできるあそびの参考にしていただけと感じる。

## 《 玉成幼稚園 》

### ① 保育活動の振り返りから具体的な課題を抽出していく

日常の生活やクラス毎の活動、園の行事の実施後に振り返りを行い、次回に向けての課題を明確にしていくことはできたが、そのことについて深く具体的な話し合いをするまでには至らなかった。

### ② 会議の議題を明確にして時間を定めておこなう

全体会議、学年会議、リーダー会議等の会議では、あらかじめ議題を明確にして進めていくようにしてきたが、課題によっては話しが拡がり、時間が長くなったり、内容がまとまらなかったりすることがあった。しかし、それらの話の中で出てきた内容に意義のあることが多かった。

### ③ ていねいな保護者支援をおこなう

4月・5月の休園の際、園児・保護者へのビデオメッセージを作成し、新入園児・進級児・保護者に送付し、休園中の不安を和らげることができた。また、クラス懇談会や保育参観を行うことができなかつたため、クラスや行事での子どもたちの活動の様子を、写真入りの書面で伝えていくことができた。そのことについて、保護者も大変感動してくださり、園の保育の理解に繋がった。

### ④ 個別援助の重要性を理解し、ケースカンファレンスを充実させる

学年の「振り返り」の際に、子どもの行動について共通理解をする機会を設けたが、リアルタイムにケースカンファレンスを行うことができなかつた。年度末に2回、ケースカンファレンスの時間をもち、特定の子どもへのかかわり方について振り返り、次年度へ繋げることができた。

## 【地域支援部門】

### 《 コミュニティラボ にこにこのたね 》

### ① 地域における乳幼児期の保育・子育ての拠点としての役割を果たしていく

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどの事業は活動停止となり、「ふたつの芽」と「親子ひろば」のみ規模を縮小しての活動であった。

それでも新規参加者や久しぶりの参加者を得ることができたことは、引続き地域の子育て家庭の支持があることなので、コロナ禍の中での乳幼児期の保育・子育ての拠点としての役割を模索していきたい。

### ② さまざまな地域資源とのつながりを持ち、連携して子育て支援活動を継続していく

宮前図書館の職員の出張読み聞かせや、保育園児の老人施設との交流は、コロナによって絶たれている。活動は制限され、情報交換と共有が主ではあるが、「松庵小地域子育てネットワーク」との連携が非常に大切な繋がりとなっている。

③ ふたつの芽 親子グループ

5月・6月はコロナで実施できなかったが、7月から実施することができた。

会を重ねることで、親子でゆったりと遊ぶことと同時に、子どもたちがお互いに関心を持つようになった。そのことがきっかけで保護者同士の関わりも持てるようになり、親子グループの目的を果たせる場となっている。

④ 親子ひろば

密を避けるため、電話予約による10家庭の人数制限という形でおこなった。絵本の読み聞かせを行うことはできなかったが、クリスマスシーズンの特別プログラムが好評だった。保育園児の身体を使ったあそびのドキュメンテーションを展示したり、保育園で使っている手作り遊具を会場にも用意して、家庭でのあそびを拓げるヒントにしていた。

⑤ 健康相談

健康面だけでなく、子育て全般の悩みや不安を相談される方がほとんどで、きめ細かい子育て支援になっている。

⑥ 離乳食・栄養相談

この再開を待っていた方が非常に多く、開催日の親子ひろば参加者全員が相談にも参加するなど、大変好評だった。

⑦ 保育園での離乳食試食体験

保育室内で飲食することは不可能であり、未実施。

⑧ 園庭開放

幼稚園児・保育園児と同じ時間に園庭で遊ぶのは密になってしまうため、今年度は開催を見送った。

⑨ 講座あつまればるた・妊娠中のお母さんのいるご家庭の子育て体験プログラム

コロナのため、開催を見送った。

⑩ 子育て相談ポルタ

申し込みなし。

(2) 施設・設備等教育環境の充実

・令和2年度中における学園の施設、設備等の教育環境整備を以下のとおり実施した。

施設面で主なものとして、学園内空調機の前対策として、専門学校教室10基の更新を行った。また、長時間保育に使用している「ひかりにじ」室の外部からの雨水滲入箇所の特定と対応措置、また園児の安全対策として、部屋の入口を引き戸に交換し、階段の照明を増設すると共に、階段ステップに滑り止めを設置した。

〔学園共通〕

- ・施設 ①専門学校教室エアコン更新工事 6,578,000 円
- ②ひかりにじ引き戸改修工事 380,000 円
- ③園庭改修（水飲み場、枕木等）工事 758,560 円

〔専門学校〕

- ・修繕 美術室テーブル塗替え、職員室日除け他 817,572 円

〔幼稚園〕

- ・備品 園児管理システム一式 615,626 円 ひかりにじ空気清浄機 204,600 円
- ・修繕 ひかりにじ外壁補修工事 1,296,240 円 ひかりにじ園児安全対策 509,115 円  
園庭維持改修 461,670 円他 3,738,904 円

〔保育園〕

- ・備品 空気清浄機 204,600 円、避難用バギー202,300 円他 533,985 円
- ・修繕 入口電気錠交換 226,600 円、職員用トイレ 277,200 円、ウッドデッキ雨水樋  
設置工事 127,000 円、2歳児洗面台交換 127,050 円他 1,408,226 円

〔法人〕

- ・備品 機械室エアコン設置 209,435 円

学校法人アルウィン学園役員並びに評議員（令和2年度）

理事（定数：8名 欠員0名 任期：2017年1月1日～2021年10月31日）

	役職	氏名	選考条項	備考	
1	理事長	高橋かずみ	第6条第2項	理事総数の過半数の議決により選任する	1名
1	理事	高橋かずみ	第7条第1項第1号	この法人の設置する玉成保育専門学校の校長及び保育センターこどもの木かけ所長	2名
2	理事	神蔵 幸子			
3	理事	田口 裕子	第7条第1項第2号	評議員のうちから評議員会において選任した者	4名
4	理事	佐久本宏美			
5	理事	安田 淳一			
6	理事	国分 紀之			
7	理事	今関 公雄	第7条第1項第3号	学識経験者及び功労者の中から理事会において選任した者	2名
8	理事	小倉 昇			

監事（定数：2名 欠員0名 任期：2017年1月1日～2021年10月31日）

1	監事	阿部豊太郎	第8条第1項	理事会において選出した候補者のうちから、評議員会の同意を得て、理事長が選任する	2名
2	監事	勝間田清一			

評議員（定数：17名 欠員0名 任期：2020年1月1日～2023年10月31日）

1	評議員	高橋かずみ	第24条第1項第1号	この法人の設置する玉成保育専門学校の校長及び保育センターこどもの木かけ所長	2名
2	評議員	神蔵 幸子			
3	評議員	田口 裕子	第24条第1項第2号	この法人の職員で理事会において推せんされた者のうちから、評議員会において選任した者	7名
4	評議員	佐久本宏美			
5	評議員	安田 淳一			
6	評議員	藤岡 郁子			
7	評議員	原田麻衣子			
8	評議員	山本 直子			
9	評議員	黒田 康子			
10	評議員	国分 紀之	第24条第1項第3号	この法人の設置する学校及び幼稚園を卒業した者で、年齢25年以上の者のうちから、理事会において選任した者	3名
11	評議員	西川 涼			
12	評議員	関本 泰子			
13	評議員	今関 公雄	第24条第1項第4号	評議員会において選任された理事以外の理事	2名
14	評議員	小倉 昇			
15	評議員	加藤 正克	第24条第1項第5号	この法人に関係のある学識経験者及び功労者のうちから、理事会において選任した者	3名
16	評議員	花井 香			
17	評議員	茂井万里絵			

### 3. 財務の概要

#### (1) 貸借対照表関係

##### ア) 貸借対照表の状況と経年比較

	2018年度	2019年度	2020年度
固定資産	763,698,779	780,025,957	783,320,946
流動資産	192,098,773	213,834,365	233,805,396
資産の部合計	955,797,552	993,860,322	1,017,126,342
固定負債	2,724,300	1,416,636	108,972
流動負債	47,471,184	63,547,503	68,727,875
負債の部合計	50,195,484	64,964,139	68,836,847
基本金	891,565,815	906,483,770	900,712,570
繰越収支差額	14,036,253	22,412,413	47,576,925
純資産の部合計	905,602,068	928,896,183	948,289,495
負債及び純資産の部合計	955,797,552	993,860,322	1,017,126,342

##### イ) 財務比率の経年比較

	2018年度	2019年度	2020年度
特定資産構成比率 特定資産/総資産	39.2%	40.1%	40.9%
純資産構成比率 純資産/(負債+純資産)	94.7%	93.5%	93.2%
繰越収支差額構成比率 繰越収支差額/(負債+純資産)	1.5%	2.3%	4.7%
積立率 運用資産/要積立額	112.3%	117.9%	121.1%

#### (2) 資金収支計算書関係

##### ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

	2018年度	2019年度	2020年度
学生生徒納付金収入	170,518,500	156,166,000	171,716,000
手数料収入	1,788,700	1,834,500	1,585,450
寄付金収入	100,000	0	0
補助金収入	210,604,854	214,722,050	224,398,034
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	26,202,303	25,943,328	22,869,480
受取利息・配当金収入	42,631	41,983	43,712
雑収入	11,834,836	18,000,474	25,097,706
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	33,480,000	45,060,000	38,898,500
その他の収入	10,862,330	29,155,119	24,468,195



資金収入調整勘定	△67,045,119	△56,456,323	△81,155,981
前年度繰越支払資金	177,479,946	160,640,380	188,491,596
収入の部合計	575,868,981	595,107,511	616,412,692

支出の部	2018年度	2019年度	2020年度
人件費支出	284,086,949	284,961,987	302,340,782
教育研究経費支出	45,957,021	43,165,581	53,604,457
管理経費支出	39,115,320	42,707,717	47,179,114
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	20,334,199	5,940,000	7,716,560
設備関係支出	12,258,270	9,236,591	1,563,646
資産運用支出	17,850,026	24,012,494	17,012,873
その他の支出	9,608,800	11,200,316	15,856,635
資金支出調整勘定	△13,981,984	△14,613,071	△24,373,971
翌年度繰越支払資金	160,640,380	188,495,896	195,512,596
支出の部合計	575,868,981	595,107,511	616,412,692

### (3) 事業活動収支計算書関係

#### ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

科 目		2018年度	2019年度	2020年度
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	170,518,500	156,166,000	171,716,000
	手数料	1,788,700	1,834,500	1,585,450
	寄付金	100,000	0	0
	経常費等補助金	204,085,854	212,769,050	223,651,034
	付随事業収入	26,202,303	25,943,328	22,869,480
	雑収入	11,834,836	18,000,474	25,097,706
	教育活動収入計	414,530,193	414,713,352	444,919,670
	事業活動支出の部			
	人件費	284,086,949	284,961,987	302,340,782
	教育研究経費	61,274,862	58,044,470	69,237,107
	管理経費	45,986,516	50,407,763	54,709,703
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	391,347,327	393,414,220	426,287,592
教育活動収支差額	23,182,866	21,299,132	18,632,078	
教育活動外	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	42,631	41,983	43,712
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	42,631	41,983	43,712
	事業活動支出の部			
借入金等利息	0	0	0	

収 支	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	42,631	41,983	43,712
経常収支差額		23,225,497	21,341,115	18,675,790
特 別 収 支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	6,519,000	1,953,000	747,000
	特別収入計	6,519,000	1,953,000	747,000
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	0	0	25,178
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	0	0	25,178
	特別収支差額	6,519,000	1,953,000	721,822
	基本金組入前当年度収支差額	29,744,497	23,294,115	19,397,612
基本金組入額合計	△22,557,877	△14,917,955	0	
当年度収支差額	7,186,620	8,376,160	19,397,612	
前年度繰越収支差額	6,849,633	14,036,253	22,408,113	
基本金取崩額	0	0	5,771,200	
翌年度繰越収支差額	14,036,253	22,412,413	47,576,925	

(参考)

事業活動収入計	421,091,824	416,708,335	445,710,382
事業活動支出計	391,347,327	393,414,220	426,312,770

イ) 財務比率の経年比較

	2018年度	2019年度	2020年度
人件費比率 人件費/経常収入	68.5%	68.7%	67.9%
教育研究経費比率 教育研究経費/経常収入	14.8%	14.0%	15.6%
学生生徒等納付金比率 学生生徒等納付金/経常収入	41.1%	37.7%	38.6%
補助金比率 補助金/事業活動収入	50.0%	51.5%	50.3%
経常補助金比率 教育活動収支の補助金/経常収入	49.2%	51.3%	50.3%
経常収支差額比率 経常収支差額/経常収入	5.6%	5.1%	4.2%
教育活動収支差額比率 教育活動収支差額/教育活動収入計	5.6%	5.1%	4.2%